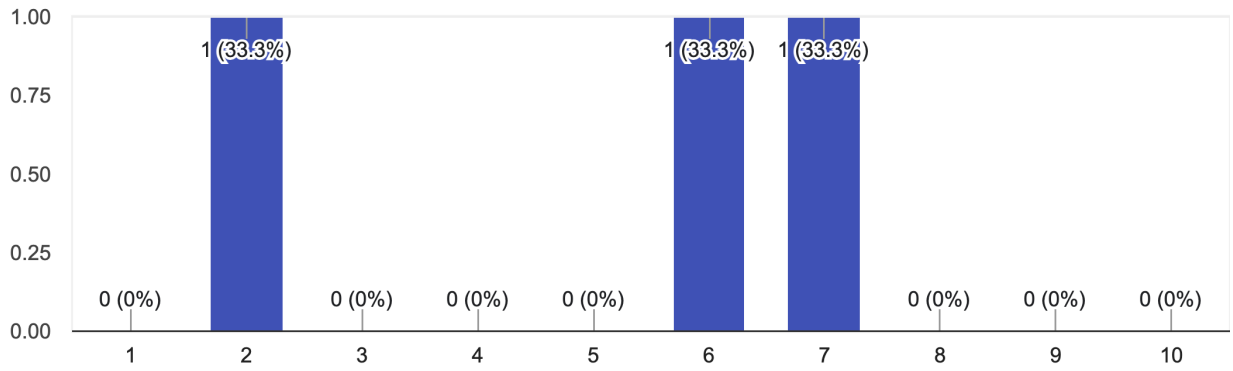


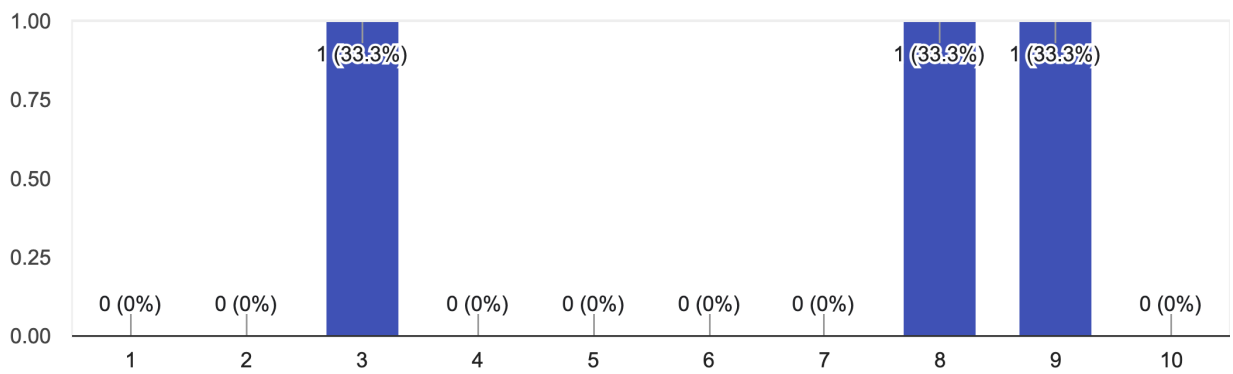
読みやすさ

3件の回答



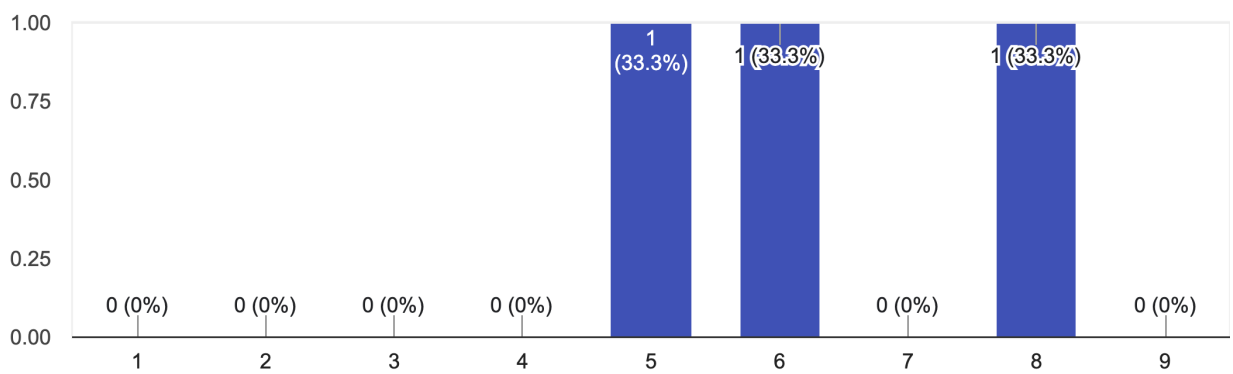
全体のまとめ

3件の回答

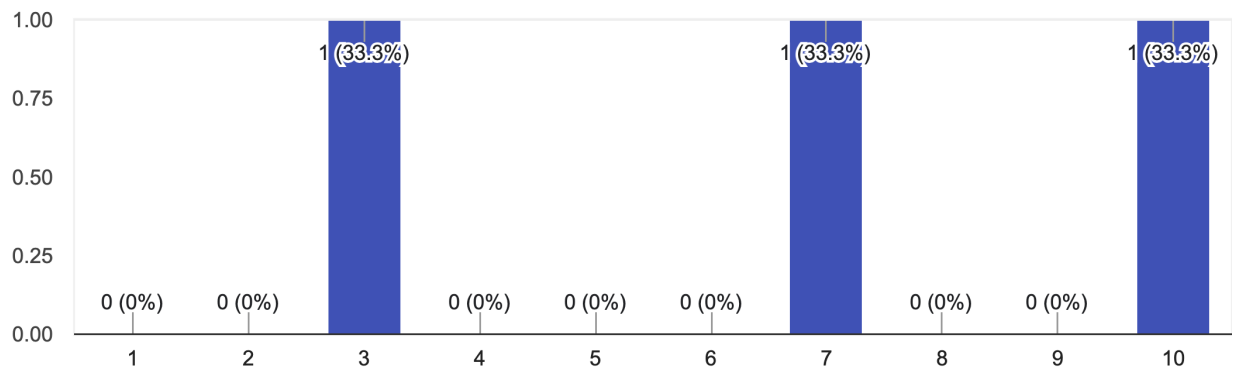


要素の詰め込み具合

3件の回答



全体を通して10段階で評価すると
3件の回答



評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

- ・【僕がつけていた婚約指輪らしい】のあとにカッコ書きがあり、次の文に移る前に句点がありませんでした。
- ・【映画というものは二回行くには時間もお金もかかりすぎる。コスパの高いエンタメだと思う】→こういう場合、コスパが悪い、と言います。
- ・【彼女から提供されるものを享受されるだけだった】→「享受する」で、自分が受け取ることになりませす。なので「彼女から提供されるものを享受するだけだった」が正しいです。

良かった点を教えてください。

- ・途中までは“僕”が錯乱しているために、指輪が妻の形をして現れているとして進みます。ところが、最後まで読むと、実際に指輪が姿を変えていて、その後も成り代わるオチ。しかも妻が亡くなったのは男のせいであるという。どんでん返しを試みる努力が見られました。
- ・たとえ指輪が化けた姿だとしても、亡き妻と一緒に再びデートをする。ひとときの夢のような時間.....となりそうなところを、男からは嬉しさを微塵も感じない。映画版「黄泉がえり」のようなヒューマンドラマになるかと思いきや、最後まで読めばホラー・サスペンスに包まれている。空気感是不気味な重苦しさが終始保たれているので、作者のやろうとしていることとマッチしているように思いました。作者の頭の中には、映像がしっかりと用意されているのだらうと感じます。

よくなかった、批判点などを教えてください。

- ・【小さな壺に入った】、【小さくなった妻を墓に入れて】
一文の中で「小さい」「入れる」が二回出てくるので、書き方を変えた方が良かったと思いました。
【小さな壺】→【小さくなった妻】という続け方が、かつての姿と比べての強調であれば、そのままでもいいと思いますが、【に入った】→【入れて】は、そういった効果は感じないかも。
例えば、「小さな壺に入った、すっかり小さくなった妻を埋葬し～」とするか、「両手に収まるほど小さな壺、その中で静かに眠る妻を埋葬し～」と、具体的な大きさを持った壺をまず見せ、それが妻であるという読ませ方をするか。
- ・【何を話したかも覚えていないし、事前にあれほど選んだ食事の味も覚えていない】
「覚えていない」が重複していますが、強調なのでしょう？ もしそうでないなら、「何を話したのかも、事前にあれほど悩んで選んだ食事の味も覚えていない」とか。
- ・【葬儀の時以上に泣いている人間もいれば、葬儀当日大泣きしていた人間が吹っ切れたように笑顔を見せていたが】
前半と後半が対応していないように感じます。「〇〇した者もいれば～〇〇していた」ではなく、「〇〇した者もいれば～〇〇した者もいた（していない者もいた）」となる方が自然です。
- ・【空はすっかり赤く燃えるような色をしているのに、随分と冷たくなっていた】
何が冷たくなっていたのか、主語がありません。外気温なのか、肌に当たる風なのか。
- ・【道路が混んでいても、結局は一人しかいない】
一人称視点小説ですが、「一人しかいない」と書かれると、主人公を外から見ているような感じがします。「道路が混んでいても、一人でしかない」とか、「道路が混んでいても、車内は一人きりだ」とか、心の内を語る書き方が良かったと思います。
また、「結局」が文中で意味を持っていません。何らかの経緯があって、「〇〇なことがあったが、結局は〇〇だった」という使い方をしますが、ここでは逆接の接続詞として扱おうとしているように見えます。前述した修正案のように、接続詞を入れずとも述べられると思います。
- ・【誰もいない助手席に荷物を置いて（中略）妻の墓前に立つ】
時間軸が飛んだのかと錯覚し、状況を整理するために読み返す必要がありました。「誰もいない助手席に荷物を置いて、来た道を引き返す」となっていれば、スムーズに読み進められたと思います。
- ・【燃え尽きた蠟燭と、根本だけ残った線香】～【燃え尽きた線香の前に置いた】
「燃え尽きた」が二文連続で使われているのが気になるのと、線香は根本が残っていて燃え尽きていないのでは……？ という矛盾を感じました。「火を失った線香」とか「役目を終えた線香」とか、言い替えることで矛盾した印象を解消しつつ、言葉の重複を避けられます。
少し先まで読んだら、【燃え尽きた線香】がそのまま繰り返し使い回されています。別の表現が良いかもしれません。
- ・【彼女の名前が入った宝石が】
ジュエリーに詳しくないのですが、宝石に名前を彫るのって可能なのでしょうか？ イメージとしては、石に直接ではなく、指輪の金属部分に名前が彫られているような……。
- ・【死が、覆っていた（中略）振り返れば、墓前に女性が立っていた】
起きている出来事と、文章の順序が合っていないように見えます。「死が、覆っていた」は、生き返ったという意味でしょうが、その後に墓から離れ、「死と、命が重なった」と再度生き返ったことを示し、その後に妻の声がする。作者がこの場面を真上から見れば、そう見えるし、演出としても使えるかもしれませんが、これは一人称小説です。語り手の目線で書かないと話がおかしくなります。

・【内側に巻いた髪は、貴方に可愛いと言って貰うために、時間をかけているのよ、とよく笑っていた】
主語が「髪」のままなので、髪が「笑っていた」ことになっています。

・【僕がつけていた婚約指輪らしい】

ジュエリーに詳しくないのですが（詠唱二度目）、婚約指輪と結婚指輪って同じものなののでしょうか？
婚約指輪って男性が女性に送るものってイメージですが、男性側が身に付けているのって一般的なのでしょうか？

・【(妻のことは「ママ」と呼び、僕のことは妻と同じように「ダーリン」と呼んでいる)】

次の一文で、【どうということかと聞いたら、きっと貴方か（中略）と首をかしげて見せた】と、矛盾しています。後の文章を見ても、「貴方」と呼んでいて統一されていません。二人称としての貴方と、愛称としてのダーリンが混在しているだけならばいいのですが……。でも「僕のことをダーリンと呼ぶ」と情報を出しておきながら、直後に「貴方」と言っているのです、じゃあその呼び名は今ここで出さなくてもよくない？ と思います。

そして、このカッコ書きは地の文で語れないでしょうか。

例えば、

彼女は妻本人ではなく、僕がつけていた婚約指輪なのだという。どうということかと聞けば、「きっと、貴方か、ママに未練があるからではないか」と首をかしげて見せた。藍のことを「ママ」と呼ぶ彼女は、僕をひどく混乱させた。

と、こんな具合で書いておいて、ダーリンと呼ぶ場面は後から自然に出せばいいと思います。

・【幻覚にしては脳がうまく彼女や周囲を補正しているようで、水族館に行けばチケットは二枚渡されたし】

本来はチケットを一枚渡されるのが正しいわけで、二枚渡されているように見えるのを“補正”というのは違和感があります。「脳がうまく彼女や周囲を誤魔化しているようで」というような言い方も選択できます。

また、男は自分が錯乱しているために妻の姿が見えると思込んでいるわけなので、「チケットは二枚渡されたように見えるし」というような語りになると思います。

・【幻覚にしては脳がうまく彼女や周囲を補正しているようで、（中略）僕はもうおかしくなっているから答えがあっても認識することができないのだろう】

かなり長い段落ですが、何を言っているのかまるまるさっぱり分かりませんでした。

誰が、誰に、何を、どうしたのか、指示語（こそあど）が何を指しているのか不明瞭で、主語も曖昧です。

・【今日はママの友達だった人と遊びに行く】

僕の脳が周囲を補正していたのに、僕がいなくなった今、友人達はどのようにして妻の姿をした存在を受け入れられるのでしょうか？ 亡くなっていると知っているはずなのに。

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

・全体をとおして、疑問符や感嘆符の後には一字空けが基本だと思います。

・【2時間半の映画】→小説では基本的に漢数字を使うことが一般的です。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体を通した感想があればよろしくお願いします

また、題名の「天藍石のダーリン」ですが、天藍石もダーリンも作中において特別重要なワードではないので、題名に合わせて作中で引き立てるか、題名を考え直すかした方が良いと思いました。

全体としてやりたいこと・話の流れは分かるのですが、読者としては一文ごとに主語や状況を解釈する作業が必要になり、なかなか物語の世界に没入しきれなかったのが正直なところ。描写の矛盾や言葉の誤用によるノイズを減らすことで、作者の描きたい世界がより伝わるようになるのではないかと感じました。

物語の構成や、非日常が混じる不気味な空気感には魅力があると思うので、それを活かすためにも入念な校正をしてほしいと思います。誰かに下読みをしてもらうのが一番ですが、もし難しければ、昨今のAI（ChatGPTやGeminiなど）を校正ツールとして活用するのも一つの手です。

AIに文章そのものを書き換えさせてしまうと作者の文体や味が消えてしまうので、論理的な矛盾や誤字脱字のチェックだけを依頼するのが良いかと思います。

例えば.....

以下の小説を読んで、物語の内容や表現（文体）はそのままに、以下の三点だけを箇条書きで指摘してほしい。

- 1.誤字脱字、および日本語の明らかな誤用（慣用句の間違いなど）。
- 2.主語と述語が対応していない、または主語が不明瞭で意味が通りにくい一文。
- 3.動作の前後関係や物理的な状況の矛盾（例：さっきまであった物が急に消えている等）。

こんな指示（プロンプト）を出して全文を読み込ませれば、読者が躓く点を洗い出してくれると思います。

ちなみに言っておくと、今回書いた批判点（改善点）は全て手動ですからね！？ ちゃんと全文を目視で読んだ上で、自分の理解+ネット調べの範囲内で書いています.....！

とはいえ、セルフチェックとしてAIを活用するのは非常に有用なはず。.....

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

サイゼリア→サイゼリヤかと思えます。

覚え方はなかやまさんに君です。サイゼリヤーッ！

良かった点を教えてください。

虚ろな気持ちが去来し、丁寧な冷たさで首筋をなぞってくるような良いお話でした。間違いのない愛と、それを模した「奇跡」の決定的なすれ違い、そのどちらも受け付けられなかった主人公の厭世が良いと思いました。死者は生き残った人間の思い出の中でしか語れないという残酷さをギミックとしてうまく扱えていると思います。

よくなかった、批判点などを教えてください。

主人公の精神の挙動が一貫しているのか、不安定なのか、どちらなのかな〜と読んでいて思いました。その中間である、という設定ならよく描けていると思います。

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

全体を通した感想があればよろしくお願いします

個人的にはとても好きな物語でした。特に好きなのは夫となる男がなくなってもケロツとしている指輪のラストです。あくまで亡くしたのではなくただの奇跡で、男はそれを積極的に受け入れようとしなかったのだという虚しさが残り、いいおわりかたでした。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

メールアドレス *

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

良かった点を教えてください。

よくなかった、批判点などを教えてください。

文章ルールについて

気になる点があれば記述をお願いします。

(そも、いつの間に登録したのだろう。社交辞令でしたのだろうか)
そもそも ではなく、あえての そも なのでしょうか？

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全体を通した感想があればよろしくお願いします

本人幻覚の認識あるし指輪の子はなんなんだろう？って不思議な気持ちで話を読み進めていると、主人公が殺人をしていてびっくりしました。

妻の葬式に来た人はそんなそぶりなかったので、完全犯罪なのか...？

指輪の子はマジの奇跡でそっちにもびっくりしました。生前の友達にあってるようですが、どのように説明したんだろう...

“道路が混んでいても、結局は一人しかいない。”

この一文がある意味が読み取れませんでした、カーナビの渋滞案内に対してでしょうか？ 混んでても自分一人だけの迷惑になるから、特段困らないということでしょうか？

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム